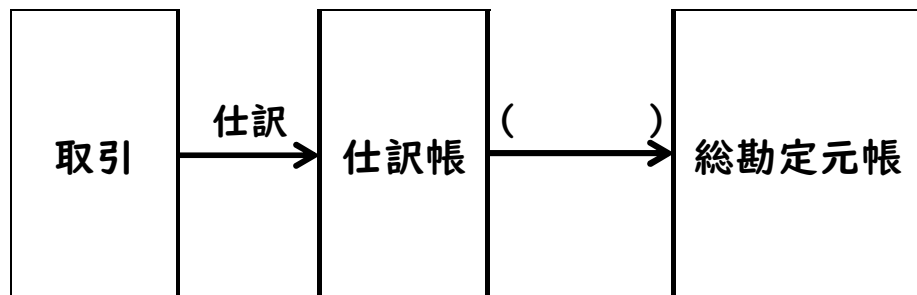


## 仕訳帳および総勘定元帳

- 仕訳帳と総勘定元帳は、すべての取引を記録して必ず作成しなければならない（ ）である。

- 《仕訳帳と総勘定元帳作成までの流れ》



- 取引を仕訳して、仕訳帳から総勘定元帳の各勘定に金額をうつすことを（ ）という。

- 下記の取引を仕訳帳への記入と総勘定元帳へ転記した場合の処理

4月1日 A社へ商品500円を売上げ、代金のうち300円は現金で受取り、残額は掛けとした。

- 《仕訳帳の各項目について》

**【日付欄】**

- 取引の日付を記入
- 取引が同日の場合は「//」でも可能。

**【ページ数】**

- 仕訳帳のページ数を意味する。

仕 訳 帳

日付	摘要	元丁	借方	貸方
4   1	諸 口 ( 売 上 )	30		500
	( 現 金 )	1	300	
	( 売 掛 金 )	3	200	
	A社へ売上			

**【摘要欄】**

- 仕訳を一行ごとに記入
- 相手科目が2つ以上ある場合は、取引の先頭の行に「諸口」と記入。
- 仕訳の末尾に取引内容である「小書き」を記入。
- 一つの取引が終われば、仕切線を

**【元丁欄】**

- 転記する総勘定元帳の口座番号(転記先)を記入する。
- 勘定口座の口座番号は問題で確認する。

**【金額欄】**

- 「借方」か「貸方」の該当する方に金額を記入

・《総勘定元帳の各項目について》

**【日付欄】**  
 ・取引の日付を記入  
 ・取引が同日の場合は「/」でも可能。

**【仕丁欄】**  
 ・仕訳帳のページ数を記入。

**【勘定口座の口座番号】**  
 ・総勘定元帳の口座番号を意味する。

現金				現金			
日付	摘要	仕丁	借方	日付	摘要	仕丁	貸方
4   1	売 上		300				

**【摘要欄】**  
 ・相手科目を記入  
 ・相手科目が2つ以上ある場合は、「諸口」と記入。

**【金額欄】**  
 ・金額を記入

売掛金 3

日付	摘要	仕丁	借方	日付	摘要	仕丁	貸方
4   1	売 上		200				

売上 30

日付	摘要	仕丁	借方	日付	摘要	仕丁	貸方
				4   1	諸 口		500

**練習問題**

- ・仕訳帳および総勘定元帳を完成させなさい。
- 1. 4月10日 Z銀行より現金5,000円を借入れ、現金を受取った。
- 2. 4月15日 B社より商品1,000円を仕入れ、代金のうち600円は現金で支払い、残額は掛けとした。

仕 訳 帳

日付	摘要	元丁	借方	貸方

現金

日付	摘要	仕丁	借方	日付	摘要	仕丁	貸方

買掛金

日付	摘要	仕丁	借方	日付	摘要	仕丁	貸方

借入金

日付	摘要	仕丁	借方	日付	摘要	仕丁	貸方

仕入

日付	摘要	仕丁	借方	日付	摘要	仕丁	貸方